様式第２（第５条関係）

会議録

１　附属機関の名称
　犬山市地域福祉推進委員会

２　開催日時
　令和８年８月３１日（月）　　１３時３０分から１５時００分まで

３　開催場所
　犬山市役所　２階２０１・２０２会議室

４　出席した者の氏名
(1)　委員　　長岩　嘉文、関谷　みのぶ、武藤　裕一朗、栗原　正寛、木村　敏夫、髙木　友徳、緒方　未輝子、谷　繁祐樹、梅村　淳、梅田　昌彦、松本　里美
（１１名出席　押谷　重昭、森岡　万朱衣　欠席）

(2)　執行機関　　北川福祉課長、阪下福祉課長補佐、中根福祉課主任主査、大前福祉課主査補

(3)　その他　　Next-i 株式会社　名古屋支店　研究員　小谷 謙太郎
（犬山市地域福祉計画実態調査業務　受託業者）

５　議題
　１　開会
　２　委員の自己紹介
　３　協議及び報告事項
　（１）令和８年度地域福祉推進委員会スケジュール案
　（２）第２次犬山市地域福祉計画策定に向けたアンケート調査概要
　（３）第２次犬山市地域福祉計画策定に向けたアンケート案

６　傍聴人の数　　なし

７　内容

事務局	定刻になりましたので、ただ今より令和８年度第１回犬山市地域福祉推進委員会を始めさせていただきます。本日はお忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。最初に委員長からご挨拶申し上げます。よろしくお願いします。

長岩委員長	（今年度第１回目ということですが、多くの委員さんは以前から務めていただいております。新たに委員になられた方は、1 つよろしくお願いいたします。 本日の議題は、次期第２次計画に向けたアンケート調査についてご議論いただくことになっております。計画を作って以降、早いものでもう半分過ぎまして、今年度そして来年度で現行計画はおしまいということになりますので、そろそろ次の計画に向けて取り組まないといけないということで、本日の議題があるのだろう思っております。 事前に資料をお送りしておりますので、お気づきの点があれば、ぜひ色々な角度からご発言いただければと思います。よろしくお願いいたします。
事務局	ありがとうございました。本委員会は犬山市の附属機関に位置づけられており、委員会は公開になっております。本日の傍聴人はいらっしゃいませんが、会議録は市のホームページに掲載することになります。会議録作成後に、委員の方に、２名になりますけども、ご署名いただくという流れになりますので、ご承知おきください。 続きまして、本日の資料の確認をさせていただきたいと思います。 （事務局による配布資料の確認）
事務局	本日、２名の委員が欠席ですけども、委員の 13 名中 11 名が出席ということで定足数は満たしておりますので、本会議は成立しておりますことをご報告いたします。 また、犬山商工会議所事務局長の交代に伴いまして、伊藤委員の後任として新たに 8 月 12 日より梅田委員に委嘱をさせていただきましたので、ご承知おきください。 それでは、今年度第１回目の委員会の開催ということになりますので、出席の皆様に自己紹介の方していただきたいなと思います。委員長から名簿順に自己紹介をよろしくお願いします。 （各委員と事務局による自己紹介）
事務局	それでは、ここから議事に入りたいと思います。以降の取り回しにつきましては委員長にお願いしたいと思いますので、よろしくお願いします。
長岩委員長	では、私の方で進めさせていただきます。議事録の書名は、髙木委員と谷委員になります。よろしくお願いいたします。 それでは、議題に沿って進めてまいります。１つ目の議題が、令和８年度地域福祉推進委員会のスケジュール案ということになっております。関連して、次期計画策定に向けたアンケート調査の概要について、続けて事

	務局からご説明をお願いいたします。 （事務局による委員会スケジュール案とアンケート調査概要についての説明）
長岩委員長	ご説明ありがとうございました。前回の一次計画の時はアンケートと計画策定をしましたが、今回は２年かけられるということでした。 まずは年度内にアンケート調査を行い、団体ヒアリングとタウンミーティングを来年予定されているということでしょうか。
事務局	今回、タウンミーティングは特に考えておりませんので、関係団体のヒアリングを来年度の策定時に実施する予定にしております。
長岩委員長	わかりました。そういう計画のようです。前回は 18 歳以上としていたのに、今回は今回 20 歳以上にしたのは何か理由がありますか。
事務局	今回も 18 歳以上の市民というところで考えております。
長岩委員長	事前にメールでお送りいただいたものが 20 歳以上だったのですが、その後、郵送で送ってもらったものは 18 歳以上になっていたということでしょうか。
事務局	はい、そうです。長岩委員長に以前お渡ししたときは 20 歳以上としていたのですが、修正しまして、今回も 18 歳以上の市民に対して、無作為で 2,000 人に送付ということを予定しております。
長岩委員長	町会長が前回 350 で今回 318 となっているのは、実態に合わせて減っているということでしょうか。
事務局	実際は、前回の調査では 317 でして、今回も 318 ということで、実際の町会長がいらっしゃる地区にアンケートをお願いする形で考えております。
長岩委員長	はい、わかりました。皆さん、いかがでしょうか。ご質問、ご意見いただければと思います。
事務局	民生委員は当初 119 名でしたけれども、今後、新たに 1 名、民生委員をしていただける方が出てきましたので、おそらく 120 名で調査を実施する予定となります。

梅村委員	一般市民のアンケートは18歳以上の無作為ですけれども、年代ごとの偏りがない形でいけるのでしょうか。
事務局	前回の抽出方法を見ると、壮年ですとか、中年ですとか高年ですとか、階層別に割合を見ていましたので、その辺りはどのようにするのが適切なのかというのは、今回コンサルタントにも入ってもらっていますので、相談をしながら抽出していきたいと考えています。
谷委員	民生委員とか児童委員もアンケートをしていると、前回もそうだったと思いますけれども、例えば今そういうボランティアをしているＰＴＡであったりとか消防団であったりとか、そういう方まで対象を広げるということは特には考えてはいないのでしょうか。
事務局	現段階では、地域の中心となって各町内の町会長と、各地区で色々な方のご相談にのり、繋ぎ役をしていただいてる民生委員の方に、今回もアンケートをお願いする予定です。
松本委員	18歳以上から無作為に2,000人ということで外国人に当たることも可能性としてはあるかと思います。そのとき、実際にアンケートを読んだり理解したりするのは難しいのではないでしょうか。
事務局	無作為なので外国籍の方にお願いすることもあるかと思いますので、そちらについては翻訳等なり、ご相談いただいて対応できるように考えます。
長岩委員長	ハードルが高くてやめるということはできれば避けた方がいいと思いますし、先ほどタミーティングは予定してないということでしたが、やれるのならやった方がいいかと思います。前回も2か所でしていますけれども、地区別の計画作りのときには、タウンミーティングをする市町村が割と多いという印象です。 準備などが大変ではありますけれど、生の声を拾うという意味と、周知啓発の意味でも本当はした方がいいと思いますけれど、色々ご事情はあるかと思います。 では、議題の３つ目、アンケート調査の内容に移っていきたいと思います。事務局からまずはご説明お願いいたします。 （事務局によるアンケート調査内容についての説明）
長岩委員長	今、変更点だけご説明いただきました。説明にありましたように、これを調査票に落とし込んだものが資料３の２以降ということになっております。先ほどの議題の２つ目の概要も含めて、調査票、アンケート用紙につ

いて一通りご意見いただこうかなと思います。

関谷委員　まず初歩的なところを質問したいのですが、町内会長アンケートと民生委員・児童委員アンケートで抽出される人と一般市民というのは全然被らないようにはなってるんでしょうか。

事務局　被らないようになっています。

関谷委員　では、例えば１つの世帯の中に町内会長用とまた別の方がいる可能性もあるということでしょうか。

事務局　町会長、民生委員・児童委員につきましてはこの 2,000 人から除きますが、ご家族に当たる可能性はあります。

関谷委員　わかりました。前回の回収率が一般市民向けで 47.4 パーセント、50 パーセントを切っているんですが、内容は前回も含めてこれぐらいのボリュームになるのは仕方がないなと思いつつ、これが 50 パーセントの回収率を超えるようにするには何をしたらいいのだろうと考えながら読んでいました。

前回の回収の時に出た意見とかで、改善できそうなことというのはありましたでしょうか。この 47 パーセントの年代構成とか、どの世代はたくさん答えるけれどもどの世代はなかなか回答してくれないとか、そういうのがもし分かればと思います。

（関谷委員からの質問に対して回答を保留とした）

関谷委員　どういう風にアンケートを取るのか検討できれば、もしかしたら 50 パーセント超えるようになるのかなと思いました。

前回から何年か経っており、Web の方が回答しやすいとか、そういうこともあるかとは思うのですが、少なくとも関心のある人が回答してくれていると思いますので、そうではない人々が何を感じているとか、どういったところに課題を感じているのかということが、少しでも上がってくるといいなと思いました。

武藤委員　一般市民向けアンケートの 20 番、21 番の説明になりますけれども、社会福祉法が改正されたということで、頼れる身寄りがない高齢者等の支援の人物ということで、現実的には日常生活とか入院等の手続きとか、あと死後事務の支援などを行っていくということなんですけれども、第２種社会福祉事業に位置づけられるということで、社会福祉協議会に限らず、多様な主体の参入が可能とはされているものの、国の検討を見ていたりしま

すと、社会福祉協議会になっていく方向にあるように今感じてるところです。
そうした中で、現実的に市内にどれぐらいこの事業を必要としてる方がいらっしゃるのかどうかも含めて、なかなか実態や状況を把握できてないところがありますので、このアンケートである程度傾向が掴めればありがたいと思っているところです。
その結果も踏まえて、ぜひ次のこの地域福祉計画の中に、この事業についても位置付けがされるといいなと思いますし、合わせて、社会福祉協議会の方で策定する地域福祉活動計画にも当然盛り込んでいかなければいけないのかなと思っています。

長岩委員長　この問 20 は前もあった項目でしょうか。

事務局　追加した設問になります。今、武藤委員からお話がありましたけれども、社会福祉法の改正の内容としまして、頼れる身寄りがない高齢者等への支援の充実ということで、見直しされる内容として、日常生活の支援や入院・入所の手続き支援、死後の事務支援などを利用者のうち一定割合以上に無料または低額で提供する事業を第２種社会福祉事業として位置づけるというところが今回見直しにあたっております。
こちらにつきましては、昨年度の委員会の中間評価の時にも、今後第２種となるので動向をということをご意見がありまして、それが具体的に見直しされていきますので、今回、この内容について、今までは成年後見のみのお話を聞いていたものですから、この点について新たに設問として追加しております。

長岩委員長　これは捉え方によってはドキっとする質問でもあるので、表現の工夫があってもいいという感じはします。

事務局　それは設問の投げ方ということでしょうか。

長岩委員長　そうですね。
身寄りのない高齢者への支援のスタートは 2030 年頃からだったでしょうか。確か愛知県は豊田市と新城市で試行的なことしており、来年度についても、聞いた範囲では結構手を上げてるところが多く、15 か所ぐらい手上げていて、全部は無理なので絞らないといけないっていう話を聞いた記憶があります。

事務局　先ほどの関谷委員からご質問のあった回答率のパーセンテージについてお伝えさせていただきます。
前回、最も多いのが 70 歳代で 23.1%、次いで 40 歳代が 15.9%、50 歳

代が 15.7%、60 歳代が 15.1%となっておりまして、若い世代では、10 歳代が 1.3%、20 歳代は 6.4%、30 歳代は 8.2%ということで、10%を切ってる回答率ということになっています。

長岩委員長　それは、全体の中の比率でしょうか。

事務局　そうです。

長岩委員長　関谷委員の質問の意図としては、母集団の中でどれぐらいの人が回答してるかの、比率だったのではないかと思います。年代の中の回答率が高いのと低いのを知りたかったのではないかと。

事務局　そのパーセンテージについては、前回は、報告書として出していないものですから。今回の調査では確認してみたいと思います。

栄原委員　関谷委員と同じような話になってしまいますが、アンケートの回収について、たまたま他の委員会にも出させていただいてて、計画の更新の時期に色々な計画が立っていると思うのですが、そこでみんなアンケートを出される。

実際にアンケートを出して回答してもらっているという行動が起きていて、たくさんアンケートが来ると「またか」となるのでないかという心配と、偶然なんですけれど、前回のアンケート抽選に当たりまして、回答させていただいた記憶があるのですが、Ｗｅｂで回答できるということを、来た封筒の正面にわかるようにしていただいた方がいいのではないかと思います。

中を見て初めてわかるというか、こんな厚いのが来たとなるのですが、Ｗｅｂははじめると割とスッと終わっていくので。進み方も早いものですから、そういうのを少し表に出していただける方が、特に若い子たちに当たった場合はめんどくさがるので、この間たまたまうちの娘が違ったアンケートに当たったとか言っていたのですけれど、Ｗｅｂでやれるというのを見て、スッとやっていましたので、そういうところのアピールをするのも大事かと思っているのと、アンケートに答えて市役所に来たら、何かもらえるというのがあったみたいです。グッズの内容があまり面白くなかったようで本人は行かなかったみたいなんですけど、例えばＷｅｂで回答したら、すぐにありがとうメッセージはどこでも来ると思うのですが、それに付随してわん丸君とか何かが来るとか、そういうことをして面白がってくれるのかなとか。興味を引くというか、アンケートに答えるとこういうこともあるんだよ、ということを何か付随させるのも面白いかと思いました。

市役所に来て何かもらえるということも、そういうことを今しているの

も初めて知りましたし、いいことかと思いますので、何か工夫された方が回答率も上がってくるのではと思いますので、その辺検討していただければと思います。

木村委員

アンケート調査についてなのですが、実は違う調査がうちの入所施設の方に来ました。入所施設と言いますと、重度の障害の方たちの住所になっておりますので、そこへ来たのですけれども、もちろん理解ができないものですから、市役所の方に、これはどうしたらいいのか、施設の職員が書くのかどうするのかということでご相談したところ、戻してもらって結構ですよということがありました。その辺を少し配慮していただけるとありがたいかなとは思います。

それから、もう１点ですけれども、僕らは障害の分野ですからこのアンケートには関係あるかないかはわからないのですけれども、来年から、国の施策で、医療的ケア児並びに医療的ケア者に関する法律が改正されます。

特に今回、災害等もありまして、犬山市にはアンケート調査もしていただいているのですが、そんなに多いわけではないんですけれども、医療的ケア児について、生命維持の対応ができない場合があるということもあったりしたりして、老人だとか一般の市民の方とは違って、直接命に関わるような事案のこともあるものですから、可能なようでしたら、そういった分野のことも少しアンケートの中に入れていただければと思います。

人数は少ないのですけれども、この子たちの存在というか形も少し出していただければいいかなと思います。

髙木委員

アンケート調査は、色々なものがたくさん来るのですが、後回しにして回答期限が過ぎてしまうことがあります。

表紙とか案内のところに、回答にかかる時間は５分程度ですと書いてあればすぐにやります。書いていないと後回しになります。なので、回答にかかる時間は何分程度ですとか書いていただくといいのではないかと思います。

緒方委員

私も色々なアンケートをいただきますけれども、団体がどういうものかというのを見て選んだりとか、時間が短くて済むもの、筆記があるとその項目を飛ばしてしまったりするので、書きやすさであったりとか、Ｗｅｂは答えやすいというのはあります。

少し気になったのが、今回、孤独・孤立の問題というのは何年か前からすごく話題に上がっているので、項目として入ったのはすごくいいと感じました。

別に今回入れて欲しいというわけではないのですが、家族と住んでいるから孤立していない、孤独じゃない、ということではないというところが、孤独・孤立の問題ですごく言われています。家族と住んでいるけれども、

ご飯は自分の部屋で１人で食べているという方もいて、家族の中でのコミュニケーションの問題なんかもありますので、ゆくゆくはその辺りもまた検討できるといいのではと思います。このあたりは問 13 の 1 で一応クリアはしている感じでしょうか。

また、先ほど施設入所の方のアンケートの答え方の部分でもありましたけれども、成年後見を何人か受任していて、本人の代わりみたいな立場ですけれども、答えられないところはあります。そういったところをどうしていくのかというのと、本案件とは少しずれるかもしれないのですが、今回、その成年後見制度の改正内容がほぼ確定して、結局、成年後見人がある程度の期間に限定されて、その限定された期間以外は別にいらないとなった場合、さらにそういった方がこういったアンケートにも答えられなくなるということに関して、どこかで付随して声を上げていけるといいのかなと思います。

谷委員

気になったのが、回収率が 47%という部分で、例えば質問の中で、一般市民向けアンケートの問７でもそうなのですが、福祉に関心がありますかという、例えば 100 人が回答してくれて５割の方が関心があると回答したとしても、例えば回収率が 50%だった場合、その残りの出してない 100 人は全く関心がないから出していないとなると、本当は 25%だと思います。

そこの部分は回収率との兼ね合いが出てくるような気がします。そういった点では、年齢にしてもそうなのですが、例えば問 20 でも、年齢で高齢者の方が多く回答していたりすると、この部分はすごく充実したものになってくるんだろうし、なおかつ、この場合、その割合で見るよりも、絶対数というか、こういう件数でこれだけの件数があったという方が重要な気もするし、10%でしたというよりも 300 何件の困ってる人がいましたっていうことの方が重要な気がするし、その質問の中身によっては、割合で出した方がいいものと件数で出した方がいいものがあるような気がするので、そういったところで出していくといいのかなという風に感じました。

長岩委員長

まとめ方というか分析になるのですが、どうしても結果こうでしたというまとめ方になるのですけれども、今ご指摘があったように、どこの回収率が高くて、どこが低いかとかも含めて見れば、分析の仕方は変わってくるのかなと思います。手間ですけれど、ご検討いただければと思います。

梅村委員

色々なアンケートを最近見ていますと、解答時間が５分と書かれいてるのが多いですから、例えば５分だったらやってみようかなっていう気になる。

これが、例えば７分とか８分と書いてあれば自分はやりませんので、５分で終わるというのを書くと少しは増えるのかなというのと、ここから先は無理だと思うのですけれども、アンケートのＱＲコードで何かした場合

に、スクリーンショットを市役所に持ってくると何かもらえるとか。
市政70周年で作ったような、わん丸君のボックスティッシュとか、ああいうものがもらえたら少しは増えるのかなとは思ってもいますが、なかなか難しい点だと思います。
ただ、統計的に見ていくと、2,000人の無作為抽出でいくと、例えば18歳以上が犬山市だと大体５万人ぐらいいると思うのですが、そのうちの2,000人で、そうすると大体25人に1人で、そのうちの半分だとすると1,000人、ということは50人に１人が回答してるっていうことになってきますので、いわゆる統計学上は、割と数字上は信頼のおけるアンケート調査だとは思います。
ただ、世代によるこのばらつきはいかんともしがたい部分で、なかなか難しいと思います。若者は、先ほど言いましたようにＱＲコードで多分やる場合が多いので、５分で済みますと書かれたら少しは増えるのかなというところに期待したいと思います。

長岩委員長

ありがとうございます。ただ今回のアンケートに関しては、５分では終わらないと思います。項目も読まないといけないものが多いので、５分と書いてあると嘘じゃないかという苦情がありそうなので、もし時間の目安を出すのであれば現実的な数字を出さないとかえって反発される可能性もありますので、ご検討いただければと思います。

梅田委員

商工会議所でもこういうアンケートだったり参加申し込みだったり、色々あるのですけれども、なるべく少なくしようとしています。
例えば住所なんていらないですし。そういったことを色々考えた上で、例えば問15の1とか、設問の中のものが13程あったりするものですから、何を求めたいのかで、もう少し設問を少なくできたらいいのかなと思ったりもしました。また、一般アンケートでは17%がＷｅｂ回答なものですから、Ｗｅｂは皆さん言っておられるようにすらすら出来てしまったりするものですから、Ｗｅｂ回答を使ってくれれば上がるのかなと思います。
また、10代、20代、30代がＷｅｂ回答を使えば回収率が上がるかと思っていて、経年変化を見るということで難しいかもしれないのですけれども、３分の２ぐらいにすると設問のボリュームもいいのかなと思いました。

松本委員

いつも理想論だと自分でも思ってしまうのですが、町会長用と民生委員・児童委員用の最後の設問、それから一般の方たちにはそれぞれすごく細かくやっていていいと思うのですけれど、最後の質問のところで、もちろんこれは統計取るためのアンケートだと思いますが、アンケートに抽出された人自体が困っているとか、18歳は大人という定義ですけれど、私たちの中では青少年問題といっているようにまだまだ発展途上の子どもたちと思うところもありまして、悩んでる当事者がこれを受け取ってしまった時に、

	質問の表し方が、自分は割と安全圏にいて、まちづくりについてどうですか、と聞いてるような気がしてきました。 　もし、あなた自身困ってることがありましたら、みたいなところがあると、本来の目的とは違うのですが、その困っていることを拾えたり、生の声が聞こえるのではないかと思いました。
長岩委員長	今、松本委員からご指摘があったものを入れようとすると、項目の中ではなかなか入れきれないので、最後に、具体的な困りごとがあったらご連絡くださいみたいなのはあってもいいのではと感じました。 　色々なアンケートがありますけれど、割と短時間でやりやすいのは、顧客向けのアンケートは項目も絞られているし取りやすいと思うのですけれど、こういう行政計画に使う、あるいは地域福祉というものも、一般の方にはそんなに馴染みのあるものではないものを問おうと思うと、傾向や動向を見るというのと同時に、ぜひ読んでもらって、こんなことがあるのだとか、こんなことを示しているのだということを認知してもらうというか、好ましい言い方ですけれど、学習してもらうような意図があったりもするので、これ以上簡便にはしにくいとは思いますので、その辺も事務局で改めてご検討いただければと思います。 　あと、議題の１、２のところで、松本委員からご指摘があった外国人のことですが、一定数いらっしゃいますので、当たった場合に、漢字があるととても回答には抵抗があるので、一般の方はルビを振るとかえって見にくいというところもあるのですけれど、割と答えてもらいやすいとか、あくまでも一般市民用のとこだけですけれど、回収率を上げる工夫はできる余地があるのではと思いました。 　一通りお尋ねをいたしましたが、他に何かお気付きの点や今日申し上げておきたいということがあればおっしゃってください。
事務局	松本委員のお話は、困っていたら相談をしてくださいという、相談につなげれるような形にした方がいいということでしょうか。
松本委員	そういう方にとって相談に行くことはハードルが高くて、もしそういった一文があれば行ってみようかなとか、生の声を拾うということができるのかもと思いました。
長岩委員長	孤独・孤立の項目を入れておきながら、実態把握するだけというところに抵抗があるということかと思います。
谷委員	今、皆さんのお話を聞いていまして、回収率はすごく重要だと感じまして、コストがかかるかもしれないですけれど、先ほど栄原委員や梅村委員の言っていたような、何かしら特典があるようなことがあった方がいいの

かなと思いました。
　せっかくこうして皆さんが集まって、せっかくお金や時間を使って、コストをかけてアンケートを作っているのであれば、その内容がある程度精度の高いものになっていくといいなと思いまして、せっかくコストかけているなら、もう少しコストかけて何か還元していくというか。なおかつ、結局ここに何人も集まっているので、回収率を上げる議論ができるといいのかと思いました。
　結局、事務局に投げつけているだけのものになっていて、自分たちで案を出してるわけではないような気がするものですから、出してはいるけど本当に踏み込んだところまで行ってないような気がするので、そういう議論ができる場があればいいかなというように感じました。

長岩委員長　　ご提案ありがとうございます。現物給付以外のところで何か回収率あげるアイデアみたいのがあれば、ぜひお願いします。

谷委員　　例えば、市民団体というのがありますが、意識が高いところがあると思いますので、そういう人たちには一般市民として直接渡すとか。民生委員92％、町会長が75％と、日頃から地域福祉への関心が高い人は回答率が高いので、そこを分析して、人の集まる場所で渡してその場で書いてもらうとかできたら、もう少し上がるのではないでしょうか。

梅村委員　　市民アンケートの場合は無作為にやるというのが絶対必要だと思います。ある会場でお願いするということになると、その信頼性というのが損なわれてくるような気がしますので、無作為にという部分は絶対大切なことじゃないかなとは思います。

長岩委員長　　調査手法として、そこはエビデンスに関わるところなので、色々な方法で色々な対象者にしてしまうと、統計的な信用性というところが問題になりかねないなとは思います。
　そことの絡みでも、回収率がどこまでいくかわかりませんけれども、市民アンケートではこういう結果が出ましたけれど実際にこれをどう受け止めるかみたいなところは、我々だけではなくて、できればターミーティングに投げかけて、私たちの実感と一緒だとか、うちの地域は違うぞとかいうのが生の声として取り上げられると、結果の分析に厚みが出るのではないかと思います。

栄原委員　　法的な規制がわからないのですけれど、マイナンバーの時もそうだし、色々な国で、選挙の投票率上げるために選挙へ行ったらチケットがもらえて、それでハンバーガーを食べるとか、そういうことやってるとこもたくさんあって、アメリカでもありますけれど、例えばＷｅｂで回答したら、

	ＱＲコードで 500 円が妥当なのか 300 円が妥当なのかわからないですけれど、それが貰えて、市内のお店で使えるとかいうことが可能であれば、Ｗｅｂの人だけでいいのかとなってしまうのかもしれないですけれど、今後、犬山市がアンケートをするときに、Ｗｅｂの方がおそらく作業効率も良くなるし、色々な費用が抑えられると思いますので、そちらを推進させるなら、そこに投資をする意味でそういうような形もあるのかなと思います。 そのお金がまた市内で若い子たちがＷｅｂで回答して、コンビニになってしまうかもしれないですけれど、色々なところで買ってくれれば、またそれも地域経済の活性化に繋がるというように思います。そんなようなことが法的に可能であればですが。 色々な規制があるので簡単にはいかないし、時間もかかるのかもしれないですけれど、先程谷委員から言われたように、せっかく来ているので、そういうことが可能であればいいと思ったりしました。
事務局	一般市民の方の回収率を上げる対策をした方がいいというご意見が、皆さん同じ思いであり、そのための手段として、Ｗｅｂでの回答の周知や、短時間でできるようにするとか、Ｗｅｂを前面に出すとか、プラスで何か特典がついてくるとさらに上がるのではというところでご意見をいただきました。 市としてやれること、やれないことというのはもちろんありますけれども、回収率を上げるために、皆さんから今日いただいた意見の中で、今回からすぐに取り入れるものもあります。特に栗原委員がおっしゃられたＷｅｂの方を前面に押すという点は対策できると思いますので、そこは今日のご意見をもとにやり方を検討します。
長岩委員長	経費と言いますか、予算が伴うものはなかなかその調査を皮切りにというわけにはいかないと思いますので、今日そういう意見がたくさん出たというところは然るべきところにお伝えいただいて、もう少し変化があればとは思います。 もう１つ、確かにＷｅｂは普及してきていますけれども、回収率が、回答者の構成比の高いところはご年配の方だったので、そこはまだまだ難しい層の方々のような気がします。年々変わってきていますけれど、スマホを持っている人が何に使っているかというと、電話と検索にとどまってるという人がご年配の方に多いので、この辺は段階的にお考えいただければと思います。
関谷委員	アンケートの周知の仕方ですけれど、届いて初めてアンケートがあるとわかります。事前の、例えば国勢調査とかだと、あらかじめ今年度は調査の年ですというようなことがアナウンスされていて、私たちも今年来るということがわかるのですけれど、郵送で届いて初めてというよりも、事前

	に情報を出して、今年こういうアンケートをこの計画のためにやりますみたいなものが伝わっているといいかなと思いました。 特に何か作ってほしいということではなく、若い世代向けだと、犬山市もインスタがありますけれど、そういうのでポンと流すだけでも、多分、犬山市を見る高校生とか、その子供たちが親に話をするというような、子供たちが活用しているものを使って、LINE だとかというようなところから、ジャブみたいなものがあって、届いた時に全然知らないではなくて、家庭の中で話題に出たなというようなことがあれば少し変わるのではないかと思いました。 何のためにやっていて、何に繋がるというところが、ちょっとした情報の中で皆さんがキャッチできるとよりいいかなと感じます。
長岩委員長	従来から、市町村によっては広報誌で事前告知をするというのはあったと思いますけれど、ほんのちょっとの枠でも枠取り合戦が結構激しかったりして、なかなかタイミングが合わないというところもあったりしましたけれども、ＳＮＳが随分普及してきて、行政も使っていらっしゃるので、そういう活用もあるのかという感じがしました。 委員から問題提起いただいて、少しアイデアも出たという感じがいたしましたので、ぜひご検討いただければと思います。 今日の議題は以上ということですので、他になければ事務局にお返しいたします。
事務局	長岩委員長、ありがとうございました。本日、いただいたご意見をもとに、アンケートを修正の上、調査を実施していきたいと思います。 本来であれば修正した案を再度委員会を開催して決定していくという流れになるのですが、時間もございませんので、内容については事務局の方で検討して修正しまして、委員長一任とさせていただきたいのですけども、それでよろしいでしょうか。 （異議なし） では、委員長一任とさせていただきますので、よろしくお願いします。 次回の委員会ですが、令和８年 11 月頃を予定しております。開催のご案内は、開催の１ヶ月前ぐらいにまたお送りさせていただきますので、お忙しいと思いますけども、よろしくお願いいたします。 以上を持ちまして本日の委員会、終了させていただきます。 【委員会終了】

令和８年度第１回犬山市地域福祉推進委員会　次第

日時：令和８年８月３１日（月）
　　午後１時３０分から午後３時まで
場所：犬山市役所　２階２０１・２０２会議室

１．開会

２．委員の自己紹介

３．協議及び報告事項

（１）令和８年度地域福祉推進委員会スケジュール案【資料１】

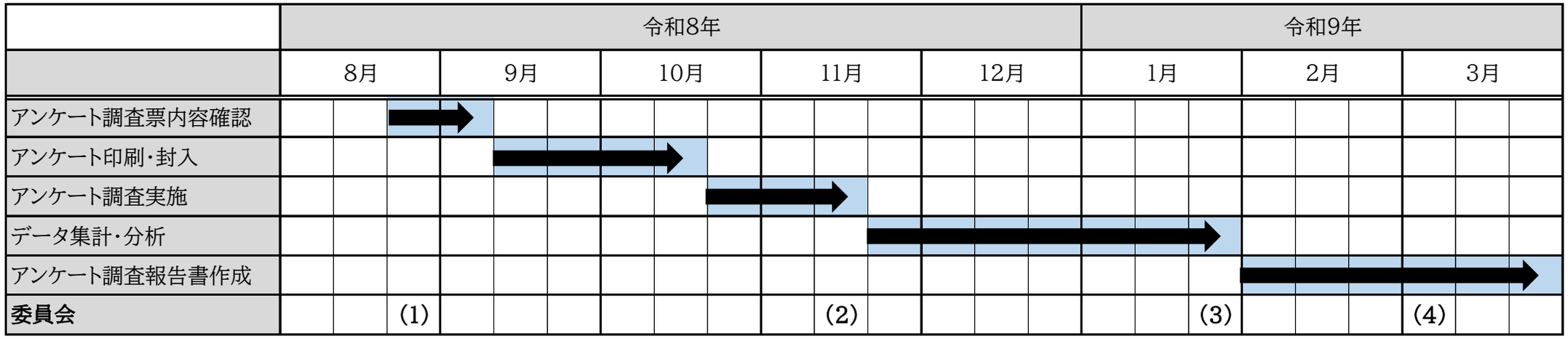
（２）第２次犬山市地域福祉計画策定に向けたアンケート調査概要【資料２】

（３）第２次犬山市地域福祉計画策定に向けたアンケート案【資料３－１、３－２】

４．その他

令和8年度犬山市地域福祉推進委員会スケジュール(案)

資料1



(1)第1回地域福祉推進委員会

日時　　令和8年8月31日(月)　午後1時30分から午後3時まで
協議事項　　①令和8年度地域福祉推進委員会スケジュール案について
②第2次犬山市地域福祉計画策定に向けたアンケート調査概要について
③第2次犬山市地域福祉計画策定に向けたアンケート案について

(2)第2回地域福祉推進委員会

日時　　令和8年11月
協議事項　　①アンケート調査について(暫定報告)
②データの分析方法等

(3)第3回地域福祉推進委員会

日時　　令和9年1月
協議事項　　①アンケート分析結果(暫定報告)
②アンケート調査報告書の仕様について

(4)第4回地域福祉推進委員会

日時　　令和9年3月
協議事項　　①アンケート調査報告書案について
②第2次犬山市地域福祉計画策定に向けた次年度のスケジュールについて

第2次犬山市地域福祉計画策定に向けたアンケート調査概要

資料2

	一般市民アンケート	町会長アンケート	民生委員・児童委員アンケート
調査地域	犬山市全域		
調査対象	18歳以上の市民	市内の町会長	市内の民生委員・児童委員
標本サイズ	2,000人	318名	119人
抽出方法	無作為抽出	全員	
調査方法	郵送配布・郵送回収 もしくはWeb回答	郵送配布・郵送回収 もしくはWeb回答	定例会で配付・回収 もしくはWeb回答
調査期間	令和8年10月下旬～11月中旬頃予定（3週間程度）		

【参考】第1次犬山市地域福祉計画策定時のアンケート調査の概要（第1次犬山市地域福祉計画書（P8）より抜粋）

	一般市民アンケート	町会長アンケート	民生委員・児童委員アンケート
調査地域	犬山市全域		
調査対象	18歳以上の市民	市内の町会長	市内の民生委員・児童委員
標本サイズ	2,000人	350人	130人
抽出方法	無作為抽出	全員	
調査方法	郵送配布・郵送回収 もしくはWeb回答	郵送配布・郵送回収	
調査期間	令和4（2022）年5月24日～6月17日		
回収数	948（47.4%） Web回答分168を含む	253（72.3%）	120（92.3%）
主な調査項目	・福祉に対する関心 ・地域にしてほしい日常生活支援 ・市の相談窓口の認知度 ・住民主体の地域活動への参加意向 ・成年後見制度の認知度・利用意向 ・災害時の避難について ・居住地域における福祉の課題 ・市の暮らしやすさへの評価	・性別・年齢・在任年数・所属小学校区 ・十分にできていない町内会活動 ・活動の課題や問題 ・他組織との連携 ・行政に期待する支援 ・居住地域における地域のつながり ・居住地域における福祉の課題 ・市の暮らしやすさへの評価	・性別・年齢・在任年数・活動地区 ・十分にできていない委員活動 ・活動の課題や問題 ・他組織との連携 ・行政に期待する支援 ・居住地域における地域のつながり ・居住地域における福祉の課題 ・市の暮らしやすさへの評価

犬山市 地域福祉に関するアンケート調査（一般市民用）

資料３-1

①前回からの変更がある設問は「備考」欄に内容を記載しています。
②前回から追加の設問はセル全体を色かけしています。

No.	設問	選択肢	備考(前回からの変更点)
1　あなたご自身のことについて			
1	あなたの性別は何ですか。（○は１つ）	1　男性 2　女性 3　回答しない	
2	あなたの年齢は何歳ですか。（令和８年４月１日現在でお答えください。）（○は１つ）	1　10歳代 2　20歳代 3　30歳代 4　40歳代 5　50歳代 6　60歳代 7　70歳代 8　80歳以上	
3	あなたの世帯の構成は、次のうちどれですか。（○は１つ）	1　ひとり暮らしの世帯 2　夫婦のみの世帯 3　親と子の２世代世帯 4　親・子・孫の３世代世帯 5　その他（　　）	
4	あなたの現在のおもな職業は、次のうちどれですか。（○は１つ）	1　自営業 2　会社員 3　パート・アルバイト・派遣など 4　公務員・団体職員 5　家事専業 6　学生 7　無職 8　その他（　　）	
5	あなたのお住まいの小学校区は、次のうちどれですか。（○は１つ）	1　犬山北 2　犬山南 3　犬山西 4　城東 5　今井 6　栗栖 7　羽黒 8　東 9　楽田 10　池野 11　わからない	
6	あなたは、犬山市に住んで通算で何年になりますか。（○は１つ）	1　５年未満 2　５年～10年未満 3　10年～20年未満 4　20年～30年未満 5　30年～40年未満 6　40年以上	
2　地域での助け合いについて			
7	あなたは、「福祉」に関心がありますか。（○は１つ）	1　とても関心がある　→問７－１へ 2　ある程度関心がある→問７－１へ 3　あまり関心がない　→問８へ 4　まったく関心がない→問８へ	
7-1	【問７で「1　とても関心がある」「2 ある程度関心がある」のいずれかと答えた方に質問します。】 「福祉」のどのような分野に関心がありますか。（○はいくつでも）	1　子育て支援 2　高齢者支援 3　障害のある方の支援 4　生活困窮者支援 5　外国住民への支援 6　地域での助け合い 7　災害援助 8　その他（　　）	
8	あなたにとって身近に感じる「地域」とは、どこまでの範囲のことだと思いますか。（○は１つ）	1　隣近所 2　町内会 3　小学校区 4　中学校区 5　犬山市全体 6　その他（　　）	

No.	設問	選択肢	備考(前回からの変更点)
9	あなたは、安心して暮らせる地域社会を実現するために、近隣住民同士の助け合いが必要だと思いますか。（○は１つ）	1　必要だと思う 2　どちらかといえば必要だと思う 3　どちらかといえば必要でないと思う 4　必要でないと思う 5　わからない	
10	近隣住民同士が互いに助け合うとしたら、地域のどの範囲が最もよいと思いますか。（○は１つ）	1　町内会 2　小学校区 3　中学校区 4　犬山市全体 5　その他（　　） 6　わからない	
11	あなたやあなたのご家族の日常生活において、地域の人にお願いしたいと思うことは何ですか（公的な支援サービスを除く）。（○はいくつでも）	1　安否確認の声かけ・見守り 2　災害時の手助け 3　話し相手 4　子どもの預かり 5　外出の手伝い（通院など） 6　買い物の手助け 7　庭の手入れや清掃 8　部屋の清掃 9　ごみ出し 10　その他（　　） 11　特にない	
12	近隣で困っている家庭があった場合、あなたはどのような手助けができると思いますか。（○はいくつでも）	1　安否確認の声かけ・見守り 2　災害時の手助け 3　話し相手 4　子どもの預かり 5　外出の手伝い（通院など） 6　買い物の手助け 7　庭の手入れや清掃 8　部屋の清掃 9　ごみ出し 10　その他（　　） 11　特にない	
13	あなたは、近所の人とどのような付き合いをしていますか。（○は１つだけ）	1　困ったときに相談し、助け合える関係 2　助け合うほどではないが、顔が合えば立ち話はする関係 3　顔が合えばあいさつはする関係 4　顔は知っているが、交流はほとんどない　→問13-1へ 5　どのような人が住んでいるのかわからない　→問13-1へ （1〜3：問14へ）	孤独・孤立に関する質問を追加。
13-1	【問13で「４　顔は知っているが、交流はほとんどない」「５　どのような人が住んでいるのかわからない」のいずれかと答えた方に質問します。】 近所付き合いがあまりない理由は何ですか。（○はいくつでも）	1　仕事などで家をあけることが多く、時間が合わないため 2　近所付き合いにわずらわしさを感じるため 3　近所付き合いをする必要性を感じないため 4　人付き合いが苦手なため 5　近所の人と知り合うきっかけがないため 6　転入して間もないため 7　外出する機会が少ないため 8　無用なトラブルを避けたいため 9　ふだん留守にしている家が多いため 10　その他	前問を掘り下げるための質問。
3　地域福祉活動について			
14	あなたは、毎日の生活の中で、誰かに相談したい悩みや不安がありますか。（○は１つ）	1　ある　→問14－１へ 2　ない　→問15へ	
14-1	【問14で「１　ある」と答えた方に質問します。】 それは、どのようなことに関する悩みや不安ですか。（○はいくつでも）	1　自分の健康☒ 2　家族の健康 3　介護 4　子育て 5　近所づきあい 6　住まい 7　仕事 8　収入・家計 9　財産の管理や契約 10　災害・治安 11　その他（　　）	

No.	設問	選択肢	備考(前回からの変更点)
15	悩みや不安を誰（どこ）に相談したいですか。（〇はいくつでも）	1　家族・親戚 2　友人・知人 3　近所の人 4　町内会の役員 5　民生委員・児童委員 6　市役所（出張所含む） 7　社会福祉協議会 8　高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター） 9　障害者基幹相談支援センター 10　保健センター・市民健康館 11　病院・診療所 12　誰（どこ）に相談すればよいのかわからない　問16へ 13　相談しない　→問15-1へ 14　その他（　　）　→問16へ	
15-1	【問15で「13　相談しない」と答えた方に質問します。】 相談しない理由は何ですか。（〇はいくつでも）	1　相談するほどではないと思うため 2　自分で解決したいため 3　他人に迷惑や心配をかけたくないため 4　誰に相談してよいかわからないため 5　相談できる相手がいないため 6　自分の気持ちや状況をうまく説明できないため 7　過去に相談して嫌な思いをしたことがあるため 8　プライベートなことを話したくないため 9　家族や知人に知られたくないため 10　相談窓口や支援制度を知らないため 11　相談窓口を利用しにくいと感じるため 12　特に理由はない 13　その他（　　）	重層的支援体制整備に関する実態把握のための質問を追加。
16	あなたは、市内にある以下の相談窓口を知っていますか。（〇は１つずつ）	下記のそれぞれに対して、「相談したことがある」「名前は知っているが、相談したことはない」「知らない」のいずれか１つに〇 １）高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター） ２）犬山市障害者基幹相談支援センター（犬山市役所障害者支援課内） ３）犬山市青少年センター（犬山市役所文化推進課内） ４）くらし自立サポートセンター（犬山市役所福祉課内） ５）家庭児童相談室（犬山市保健センター内） ６）こども家庭センター（犬山市役所子育て支援課・健康推進課内） ７）犬山市社会福祉協議会	
17	あなたは、生活に必要な福祉サービスの情報をどこから得ていますか。 （〇はいくつでも）	1　家族・親戚 2　友人・知人 3　隣近所の人 4　民生委員・児童委員 5　社会福祉協議会 6　ボランティア・ＮＰＯ 7　市の相談窓口 8　市の広報・市のパンフレット 9　新聞・雑誌 10　テレビ・ラジオ 11　インターネット検索 12　学校・職場 13　病院・診療所 14　ＳＮＳ 15　ＡＩ 16　その他（　　）	SNS・AIを選択肢に追加。 過去の結果との経年比較する場合の事を考慮し、選択肢は後ろから追加。
18	あなたは、住民主体の地域活動に参加したことがありますか（過去10年以内）。 （〇は１つ）	1　現在、参加している　→問18－１へ 2　参加したことがある　→問18－１へ 3　参加したことはない　→問19へ	

No.	設問	選択肢	備考(前回からの変更点)
18-1	【問18で「１　現在、参加している」「２参加したことがある」のいずれかと答えた方に質問します。】 どのような活動に参加したことがありますか。（○はいくつでも）	1　福祉のまちづくり支援活動 2　高齢者支援活動 3　障害者支援活動 4　子ども子育て支援活動 5　青少年支援活動 6　ひきこもり支援 7　生活困窮者支援 8　外国人との共生を支援する活動 9　健康づくり活動 10　町内会やコミュニティ活動 11　ＰＴＡ 12　子ども会 13　地域の防犯・交通安全活動 14　地域の防災活動 15　地域の清掃活動 16　参加型農業活動 17　文化財等の活動 18　その他（　　）	地域とのつながりの機会に関する選択肢を追加。 ・農業 ・文化財 過去の結果との経年比較する場合の事を考慮し、選択肢は後ろから追加。
19	あなたは、今後、住民主体の地域活動に参加したいと思いますか。（○は１つ）	1　ぜひ参加したい　→問19－１へ 2　できれば参加したい　→問19－１へ 3　あまり参加したくない　→問19－2へ 4　参加したくない　→問19－2へ 5　わからない　→問20へ	
19-1	【問19で「１　ぜひ参加したい」「２　できれば参加したい」のいずれかと答えた方に質問します。】 どのような活動に参加したいですか。（○はいくつでも）	1　福祉のまちづくり支援活動 2　高齢者支援活動 3　障害者支援活動 4　子ども子育て支援活動 5　青少年支援活動 6　ひきこもり支援 7　生活困窮者支援 8　外国人との共生を支援する活動 9　健康づくり活動 10　町内会やコミュニティ活動 11　ＰＴＡ 12　子ども会 13　地域の防犯・交通安全活動 14　地域の防災活動 15　地域の清掃活動 16　参加型農業活動 17　文化財等の活動 16　その他（　　）	地域とのつながりの機会に関する選択肢を追加。 ・農業 ・文化財 過去の結果との経年比較する場合の事を考慮し、選択肢は後ろから追加。
19-2	【問19で「３　あまり参加したくない」「４　参加したくない」のいずれかと答えた方に質問します。】 活動に参加したくない理由は何ですか。（○はいくつでも）	1　興味や関心のある活動がないから 2　時間がない・忙しいから 3　わずらわしいから 4　一緒に活動してくれる人がいないから 5　自分の健康状態が良くないから 6　有償の活動でないから 7　参加方法がわからないから 8　家族の理解が得られないから 9　その他（　　）	
4　高齢者等への支援の充実について			
20	あなたは、一人暮らしであったり、身寄りがなかったりする場合の生活について、どのようなことに不安や困りごとを感じますか（○はいくつでも）	1　困ったときに相談できる人がいないこと 2　自宅で倒れたときなどの緊急連絡先になってくれる人がいないこと 3　入院や福祉施設への入所手続や身元保証人の確保 4　日常的な金銭管理や各種契約の手続 5　日常の買い物、ゴミ出し、電球交換などのちょっとした手助けをしてくれる人がいないこと 6　自分が亡くなった後の手続（葬儀や契約解除など） 7　特に不安はない 8　その他（　　）	社会福祉法等の一部を改正する法律（令和８年）の見直し内容に関する質問。 日常生活支援、入院・施設入所支援、死後事務支援、相談支援などを選択肢を設定。

No.	設問	選択肢	備考(前回からの変更点)
21	あなたは、一人暮らしであったり、頼れる家族や親族等がいなかったりする方への支援として、必要だと思うものは何ですか（○は3つまで）	1　定期的な見守りや安否確認 2　困ったときに気軽に相談できる窓口 3　緊急時の連絡や対応の支援 4　入院や福祉施設への入所手続や身元保証に関する支援 5　日常的な金銭管理や各種契約手続の支援 6　買い物、ごみ出しなど日常生活の支援 7　成年後見制度に関する相談や利用支援 8　亡くなった後の手続（葬儀、各種契約の解約など）に関する支援 9　地域とのつながりづくりや居場所づくり 10　特に必要ない 11　その他（　　）	前問で不安や困りごとについて聞いたので、合わせて支援ニーズについての質問を設定。
22	あなたは、「成年後見制度」について知っていますか。（○は１つ）	1　知っており、利用したことがある 2　名前は知っているが、利用したことはない 3　知らない	
23	あなたやあなたの家族が、財産管理や契約などについての判断が十分にできなくなった場合、成年後見制度を利用してみたいですか。（○は１つ）	1　利用したい　　→問24へ 2　利用したくない　→問23－１へ 3　わからない　　→問24へ	
23-1	【問23で「２　利用したくない」と答えた方に質問します。】 成年後見制度を利用したくない理由は何ですか。（○はいくつでも）	1　制度についてよく知らないから 2　利用にかかる費用が心配だから 3　誰が後見人になるかわからないから 4　申請手続きが大変そうだから 5　制度を利用しなくても家族で対応できるから 6　その他（　　）	
5　災害について			
24	あなたは、地震や台風などの災害時に避難する場合、自分で避難することが難しいなどの理由で誰かの手助けが必要ですか。（○は１つ）	1　手助けが必要である　→問24－１へ 2　手助けは必要ない　　→問24－２へ 3　わからない　　→問24－２へ	
24-1	【問24で「１　手助けが必要である」と答えた方に質問します。】 あなたが避難所や避難場所に行くのを手伝ってくれる人はいますか。（○は１つ）	1　いる 2　いない 3　わからない	
24-2	【問24で「２　手助けは必要ない」「３　わからない」のいずれかと答えた方に質問します。】 あなたは、自分で避難することが難しい人（高齢者や障害のある人など）のために何か手助けができると思いますか。（○は１つ）	1　自分から手助けできると思う 2　助けを求められたら、手助けできると思う 3　事前に頼まれていれば、手助けできると思う 4　自分や家族のことで精一杯で、手助けできないと思う 5　その他（　　） 6　わからない	
25	大規模災害などの備えとして、避難行動要支援者支援制度では要支援者名簿への登録を求めていますが、このように地域で個人情報を共有することについて、どう思いますか。（○は１つ）	1　かなり必要だと思う 2　ある程度必要だと思う 3　あまり必要だと思わない 4　必要だと思わない 5　どちらともいえない	
26	災害時に関して、不安に感じることはありますか（○は３つまで）	1　災害や避難に関する適切な情報が得られるか 2　自治体や相談窓口に連絡・相談できるか 3　自分や家族の安全を確保できるか 4　避難所まで、迷わず安全に移動できるか 5　避難時や災害時に助けてくれる人がいるか 6　避難所で安心して生活できる環境（食料・トイレ・プライバシー・防犯対策等）が確保されるか 7　けがや病気の際に、必要な医療を受けられるか 8　持病の治療や服薬を継続できるか 9　家族（子ども・高齢者・障害のある方など）の支援が受けられるか 10　ペットを連れて避難できるか 11　特に不安はない 12　その他（　　）	災害時に不安な事を把握するための質問を追加。
6　地域福祉全般について			
27	あなたは、今後、地域福祉に関する講習や説明会などがあれば参加したいと思いますか。（○は１つ）	1　ぜひ参加したい 2　できれば参加したい 3　あまり参加したくない 4　参加したくない 5　わからない	

No.	設問	選択肢	備考(前回からの変更点)
28	あなたの住んでいる地域では、福祉に関して、どのような課題や問題があると思いますか。（〇はいくつでも）	1　身のまわりのことについて、相談できる人がいない 2　住民同士のまとまりや助け合いが少ない 3　町内会・まちづくりなどの役員のなり手・担い手が少ない 4　多世代（幅広い世代の人々）の交流やつきあいが少ない 5　地域の行事や活動が活発でない 6　地域の人が気軽に集まれる場所が少ない 7　介護疲れやストレスの問題 8　社会参加や生きがいづくりの機会が十分でない 9　孤立や孤立死などの問題 10　ひきこもりの問題 11　貧困の問題 12　虐待の問題 13　育児疲れやストレスの問題 14　子どものいじめや不登校の問題 15　子どもが安心して登下校できるような体制づくり 16　子どもが安心して遊べる場所が少ない 17　災害時に安心して避難できる支援体制の整備 18　地域の防犯 19　地域の外国人とのコミュニケーションが難しい 20　買い物や通院などの移動手段の確保が難しい 21　認知症の人やその家族を支える支援が十分でない 22　一人暮らしの高齢者や頼れる親族等がいない人への支援が十分でない 23　家族の介護や世話をしている子どもや若者（ヤングケアラー）の問題 24　ひきこもりや介護など、複数の課題を抱える世帯への支援 25　その他（　　） 26　特にない	下記の内容について選択肢を追加。 ・移動手段の確保 ・認知症高齢者の生活支援 ・身寄りのない人への支援 ・ヤングケアラーの問題 ・8050問題など複合的な生活課題 過去の結果との経年比較する場合の事を考慮し、選択肢は後ろから追加。
29	地域で一人ひとりが安心して暮らしていくために、住民のひとりとしてあなたができることはどんなことがあると思いますか。（〇は１つ）	1　地域活動に積極的に参加する 2　できるだけ地域でのできごとに関心を持つ 3　学校での行事など、家族に関係ある範囲内の活動には参加する 4　まずは家庭内の問題（コミュニケーション不足など）を解決する 5　その他（　　） 6　特にない	
30	地域福祉の推進のためにはどのようなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）	1　ボランティアなどの地域活動への参加の促進や支援の充実 2　住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援（住民同士や行政との連絡の強化など） 3　住民が誰でも気軽に集える交流の場づくり 4　住民が誰でも気軽に利用できる福祉活動の拠点の整備 5　緊急時や災害時に身近な地域で助け合う体制づくり 6　弱い立場の人への人権侵害や虐待をなくし権利を守る仕組みづくり 7　地域における保健や福祉に関する活動の中心となる人材の育成 8　身近な場所や地域での相談窓口の充実 9　保健や福祉に関する情報提供の充実 10　高齢者や障害のある方の住み慣れた地域での在宅生活を支援するサービスの充実 11　学校教育や生涯学習における福祉教育の充実 12　公共の場のバリアフリー化（階段へのスロープ併設や視覚障害者向けの点字など） 13　その他（　　） 14　わからない	
31	あなたにとって現在、犬山市はどのようなまちだと思いますか。（〇は１つずつ）	下記のそれぞれに対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」「わからない」のいずれか１つに〇 １）高齢者が暮らしやすいまち ２）障害のある人が暮らしやすいまち ３）子育てがしやすいまち ４）困ったときに助け合えるまち	
32	最後に、地域福祉全般についてご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。		

資料３－２

（一般市民用）

犬山市 地域福祉に関するアンケート調査

市民の皆様には、日頃から市政に対しご理解とご協力をいただきありがとうございます。

現在、市では次期「犬山市地域福祉計画」の策定を進めています。この計画は、「つながり支え合い 地域で高めよう “わ”の力」を基本理念に、地域で支え合いながら、誰もがいきいきと健やかに暮らすことができるまちを目指すものです。

この調査は、地域における暮らしや支え合いの状況、市民の皆様の福祉に対する考え方やニーズなどを把握し、その結果を計画策定の基礎資料とするために実施するものです。

調査の対象者は、18 歳以上の市民の皆様から無作為に 2,000 人を選び、ご協力をお願いしています。お答えいただきました回答はすべて統計的に処理し、個人が特定されることはありません。また個々の回答内容を公表したり、調査の目的以外に使用したりすることはありません。

お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和8年Ｘ月　　犬山市長　原　欣伸

〈ご記入にあたっての注意事項〉

1 このアンケートは、あて名の方ご本人がお答えください。ご本人が記入できない場合は、ご本人の意見を聞きながらご家族の方と一緒にお答えいただいてかまいません。

2 回答は、選択項目の中からあてはまるものの番号を○印で囲んでください。また、質問ごとに(○は1つ)(○はいくつでも)など回答の数を示していますので、その指示にしたがってお答えください。

3 「その他」に回答された方は、その具体的な内容を(　)内にご記入ください。

4 ご記入いただいた調査票は、**令和8年Ｘ月Ｘ日(X)**までに同封の返信用封筒に入れて、封をしてポストに投函してください。

◆インターネットからも回答ができます◆

回答はインターネットでも受け付けています（※インターネット回答をした方は、本調査票の返信は不要です）。下記のアドレスを入力するか、右の二次元コードからアクセスし、以下のＩＤ・パスワードを入力後、「アンケートを始める」を押してください。

Web フォーム URL

ID・パスワードシール貼付位置

Web フォーム
二次元コード

回答サイト

<問い合わせ先> 犬山市 福祉課 庶務･生活保護担当(市役所2階)
〒484-8501 犬山市大字犬山字東畑 36 番地
電 話:0568-44-0319(平日9:00～16:00)　メール:030100@city.inuyama.lg.jp

１　あなたご自身のことについて

問１　あなたの性別は何ですか。（○は１つ）

１　男性　　２　女性　　３　回答しない

問２　あなたの年齢は何歳ですか。（令和４年４月１日現在でお答えください。）（○は１つ）

１　10 歳代　　２　20 歳代　　３　30 歳代
４　40 歳代　　５　50 歳代　　６　60 歳代
７　70 歳代　　８　80 歳以上

問３　あなたの世帯の構成は、次のうちどれですか。（○は１つ）

１　ひとり暮らしの世帯
２　夫婦のみの世帯
３　親と子の２世代世帯
４　親・子・孫の３世代世帯
５　その他（　　）

問４　あなたの現在のおもな職業は、次のうちどれですか。（○は１つ）

１　自営業　　２　会社員
３　パート・アルバイト・派遣など　　４　公務員・団体職員
５　家事専業　　６　学生
７　無職　　８　その他（　　）

問５　あなたのお住まいの小学校区は、次のうちどれですか。（○は１つ）

１　犬山北	２　犬山南	３　犬山西
４　城東	５　今井	６　栗栖
７　羽黒	８　東	９　楽田
10　池野	11　わからない	

問６　あなたは、犬山市に住んで通算で何年になりますか。（○は１つ）

１　５年未満	２　５年～10 年未満	３　10 年～20 年未満
４　20 年～30 年未満	５　30 年～40 年未満	６　40 年以上

２　地域での助け合いについて

問７　あなたは、「福祉」に関心がありますか。（○は１つ）

１　とても関心がある　→問７－１へ
２　ある程度関心がある　→問７－１へ
３　あまり関心がない　→問８へ
４　まったく関心がない　→問８へ

【問７で「１　とても関心がある」「２　ある程度関心がある」のいずれかと答えた方に質問します。】

問７－１　「福祉」のどのような分野に関心がありますか。（○はいくつでも）

１　子育て支援
２　高齢者支援
３　障害のある方の支援
４　生活困窮者支援
５　外国住民への支援
６　地域での助け合い
７　災害援助
８　その他（　　）

問８　あなたにとって身近に感じる「地域」とは、どこまでの範囲のことだと思いますか。（○は１つ）

１　隣近所
２　町内会
３　小学校区
４　中学校区
５　犬山市全体
６　その他（　　）

問９　あなたは、安心して暮らせる地域社会を実現するために、近隣住民同士の助け合いが必要だと思いますか。（○は１つ）

１　必要だと思う
２　どちらかといえば必要だと思う
３　どちらかといえば必要でないと思う
４　必要でないと思う
５　わからない

問10　近隣住民同士が互いに助け合うとしたら、地域のどの範囲が最もよいと思いますか。（○は１つ）

１　町内会
２　小学校区
３　中学校区
４　犬山市全体
５　その他（　　）
６　わからない

問 11　あなたやあなたのご家族の日常生活において、地域の人にお願いしたいと思うことは何ですか（公的な支援サービスを除く）。（○はいくつでも）

1　安否確認の声かけ・見守り
2　災害時の手助け
3　話し相手
4　子どもの預かり
5　外出の手伝い（通院など）
6　買い物の手助け
7　庭の手入れや清掃
8　部屋の清掃
9　ごみ出し
10　その他（　　）
11　特にない

問 12　近隣で困っている家庭があった場合、あなたはどのような手助けができると思いますか。（○はいくつでも）

1　安否確認の声かけ・見守り
2　災害時の手助け
3　話し相手
4　子どもの預かり
5　外出の手伝い（通院など）
6　買い物の手助け
7　庭の手入れや清掃
8　部屋の清掃
9　ごみ出し
10　その他（　　）
11　特にない

問 13　あなたは、近所の人とどのような付き合いをしていますか。（○は１つだけ）

１　困ったときに相談し、助け合える関係
２　助け合うほどではないが、顔が合えば立ち話はする関係
３　顔が合えばあいさつはする関係
　　→問 14 へ
４　顔は知っているが、交流はほとんどない　→問 13-1 へ
５　どのような人が住んでいるのかわからない　→問 13-1 へ

【問 13 で「４　顔は知っているが、交流はほとんどない」「５　どのような人が住んでいるのかわからない」のいずれかと答えた方に質問します。】

問 13－1　近所付き合いがあまりない理由は何ですか。（○はいくつでも）

１　仕事などで家をあけることが多く、時間が合わないため
２　近所付き合いにわずらわしさを感じるため
３　近所付き合いをする必要性を感じないため
４　人付き合いが苦手なため
５　近所の人と知り合うきっかけがないため
６　転入して間もないため
７　外出する機会が少ないため
８　無用なトラブルを避けたいため
９　ふだん留守にしている家が多いため
10　その他（　　）

３　地域福祉活動について

問 14　あなたは、毎日の生活の中で、誰かに相談したい悩みや不安がありますか。
（○は１つ）

１　ある　→問 14－１へ
２　ない　→問 15 へ

【問 14 で「１　ある」と答えた方に質問します。】
問 14－1　それは、どのようなことに関する悩みや不安ですか。（○はいくつでも）

１　自分の健康
２　家族の健康
３　介護
４　子育て
５　近所づきあい
６　住まい
７　仕事
８　収入・家計
９　財産の管理や契約
10　災害・治安
11　その他（　　）

問 15　悩みや不安を誰（どこ）に相談したいですか。（○はいくつでも）

1　家族・親戚
2　友人・知人
3　近所の人
4　町内会の役員
5　民生委員・児童委員
6　市役所（出張所含む）
7　社会福祉協議会
8　高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）
9　障害者基幹相談支援センター
10　保健センター・市民健康館
11　病院・診療所
12　誰（どこ）に相談すればよいのかわからない

→問 16 へ

13　相談しない　→問 15-1 へ
14　その他（　）　→問 16 へ

【問 15 で「13　相談しない」と答えた方に質問します。】
問 15－1　相談しない理由は何ですか。（○はいくつでも）

1　相談するほどではないと思うため
2　自分で解決したいため
3　他人に迷惑や心配をかけたくないため
4　誰に相談してよいかわからないため
5　相談できる相手がいないため
6　自分の気持ちや状況をうまく説明できないため
7　過去に相談して嫌な思いをしたことがあるため
8　プライベートなことを話したくないため
9　家族や知人に知られたくないため
10　相談窓口や支援制度を知らないため
11　相談窓口を利用しにくいと感じるため
12　特に理由はない
13　その他（　）

問 16　あなたは、市内にある以下の相談窓口を知っていますか。（○は１つずつ）

	相談したことがある	名前は知っているが、相談したことはない	知らない
１）高齢者あんしん相談センター （地域包括支援センター）	1	2	3
２）犬山市障害者基幹相談支援センター （犬山市役所障害者支援課内）	1	2	3
３）犬山市青少年センター （犬山市役所文化推進課内）	1	2	3
４）くらし自立サポートセンター （犬山市役所福祉課内）	1	2	3
５）家庭児童相談室 （犬山市保健センター内）	1	2	3
６）こども家庭センター （犬山市役所子育て支援課・健康推進課内）	1	2	3
７）犬山市社会福祉協議会	1	2	3

問 17　あなたは、生活に必要な福祉サービスの情報をどこから得ていますか。
（○はいくつでも）

1　家族・親戚
2　友人・知人
3　隣近所の人
4　民生委員・児童委員
5　社会福祉協議会
6　ボランティア・ＮＰＯ
7　市の相談窓口
8　市の広報・市のパンフレット
9　新聞・雑誌
10　テレビ・ラジオ
11　インターネット検索
12　学校・職場
13　病院・診療所
14　ＳＮＳ
15　ＡＩ
16　その他（　　）

問 18　あなたは、住民主体の地域活動に参加したことがありますか（過去 10 年以内）。
（○は１つ）

1　現在、参加している　　→問 18－１へ
2　参加したことがある　　→問 18－１へ
3　参加したことはない　　→問 19 へ

【問 18 で「1　現在、参加している」「2　参加したことがある」のいずれかと答えた方に質問します。】

問 18－1　どのような活動に参加したことがありますか。（○はいくつでも）

1　福祉のまちづくり支援活動
2　高齢者支援活動
3　障害者支援活動
4　子ども子育て支援活動
5　青少年支援活動
6　ひきこもり支援
7　生活困窮者支援
8　外国人との共生を支援する活動
9　健康づくり活動
10　町内会やコミュニティ活動
11　ＰＴＡ
12　子ども会
13　地域の防犯・交通安全活動
14　地域の防災活動
15　地域の清掃活動
16　参加型農業活動
17　文化財等の活動
18　その他（　　）

問 19　あなたは、今後、住民主体の地域活動に参加したいと思いますか。（○は１つ）

1　ぜひ参加したい　　→問 19－1 へ
2　できれば参加したい　　→問 19－1 へ
3　あまり参加したくない　　→問 19－2 へ
4　参加したくない　　→問 19－2 へ
5　わからない　　→問 20 へ

【問 19 で「1　ぜひ参加したい」「2　できれば参加したい」のいずれかと答えた方に質問します。】

問 19－1　どのような活動に参加したいですか。（○はいくつでも）

1　福祉のまちづくり支援活動
2　高齢者支援活動
3　障害者支援活動
4　子ども子育て支援活動
5　青少年支援活動
6　ひきこもり支援
7　生活困窮者支援
8　外国人との共生を支援する活動
9　健康づくり活動
10　町内会やコミュニティ活動
11　ＰＴＡ
12　子ども会
13　地域の防犯・交通安全活動
14　地域の防災活動
15　地域の清掃活動
16　参加型農業活動
17　文化財等の活動
18　その他（　　）

【問 19 で「3　あまり参加したくない」「4　参加したくない」のいずれかと答えた方に質問します。】

問 19－2　活動に参加したくない理由は何ですか。（○はいくつでも）

1　興味や関心のある活動がないから
2　時間がない・忙しいから
3　わずらわしいから
4　一緒に活動してくれる人がいないから
5　自分の健康状態が良くないから
6　有償の活動でないから
7　参加方法がわからないから
8　家族の理解が得られないから
9　その他（　　）

４　高齢者等への支援の充実について

問 20　あなたは、一人暮らしであったり、身寄りがなかったりする場合の生活について、どのようなことに不安や困りごとを感じますか。（○はいくつでも）

1　困ったときに相談できる人がいないこと
2　自宅で倒れたときなどの緊急連絡先になってくれる人がいないこと
3　入院や福祉施設への入所手続や身元保証人の確保
4　日常的な金銭管理や各種契約の手続
5　日常の買い物、ゴミ出し、電球交換などのちょっとした手助けをしてくれる人がいないこと
6　自分が亡くなった後の手続（葬儀や契約解除など）
7　特に不安はない
8　その他（　　）

問 21　あなたは、一人暮らしであったり、頼れる家族や親族等がいなかったりする方への支援として、必要だと思うものは何ですか。（○は３つまで）

1　定期的な見守りや安否確認
2　困ったときに気軽に相談できる窓口
3　緊急時の連絡や対応の支援
4　入院や福祉施設への入所手続や身元保証に関する支援
5　日常的な金銭管理や各種契約手続の支援
6　買い物、ごみ出しなど日常生活の支援
7　成年後見制度に関する相談や利用支援
8　亡くなった後の手続（葬儀、各種契約の解約など）に関する支援
9　地域とのつながりづくりや居場所づくり
10　特に必要ない
11　その他（　　）

問 22　あなたは、「成年後見制度」について知っていますか。（○は１つ）

１　知っており、利用したことがある
２　名前は知っているが、利用したことはない
３　知らない

※成年後見制度とは：認知症や障害などの理由で判断能力の不十分な人に代わって、家庭裁判所が選んだ成年後見人などが財産管理や福祉サービスなどの契約を行う制度です。

問 23　あなたやあなたの家族が、財産管理や契約などについての判断が十分にできなくなった場合、成年後見制度を利用してみたいですか。（○は１つ）

１　利用したい　　→問 24 へ
２　利用したくない　→問 23－1 へ
３　わからない　　→問 24 へ

【問 23 で「２　利用したくない」と答えた方に質問します。】
問 23－１　成年後見制度を利用したくない理由は何ですか。（○はいくつでも）

１　制度についてよく知らないから
２　利用にかかる費用が心配だから
３　誰が後見人になるかわからないから
４　申請手続きが大変そうだから
５　制度を利用しなくても家族で対応できるから
６　その他（　　）

5　災害時について

問 24　あなたは、地震や台風などの災害時に避難する場合、自分で避難することが難しいなどの理由で誰かの手助けが必要ですか。（○は１つ）

1　手助けが必要である　→問 24－1 へ
2　手助けは必要ない　→問 24－2 へ
3　わからない　→問 24－2 へ

【問 24 で「1　手助けが必要である」と答えた方に質問します。】
問 24－1　あなたが避難所や避難場所に行くのを手伝ってくれる人はいますか。（○は１つ）

1　いる
2　いない
3　わからない

【問 24 で「2　手助けは必要ない」「3　わからない」のいずれかと答えた方に質問します。】
問 24－2　あなたは、自分で避難することが難しい人（高齢者や障害のある人など）のために何か手助けができると思いますか。（○は１つ）

1　自分から手助けできると思う
2　助けを求められたら、手助けできると思う
3　事前に頼まれていれば、手助けできると思う
4　自分や家族のことで精一杯で、手助けできないと思う
5　その他（　　）
6　わからない

問 25　大規模災害などの備えとして、避難行動要支援者支援制度では要支援者名簿への登録を求めていますが、このように地域で個人情報を共有することについて、どう思いますか。（○は１つ）

1　かなり必要だと思う
2　ある程度必要だと思う
3　あまり必要だと思わない
4　必要だと思わない
5　どちらともいえない

※避難行動要支援者支援制度とは

１人でも多くの命を救うことを目的とした避難支援体制づくりのために市が避難行動要支援者を事前に名簿登録し、本人に同意を得たうえで名簿情報を関係者に平常時から提供します。このことで日頃から支援が必要な方が「どこに」「どのような状態」でいるのかを予め把握し、災害発生時の支援や安否確認を行うことをめざしたしくみです。

問 26　災害時に関して、不安に感じることはありますか。（○は３つまで）

1　災害や避難に関する適切な情報が得られるか
2　自治体や相談窓口に連絡・相談できるか
3　自分や家族の安全を確保できるか
4　避難所まで、迷わず安全に移動できるか
5　避難時や災害時に助けてくれる人がいるか
6　避難所で安心して生活できる環境（食料・トイレ・プライバシー・防犯対策等）が確保されるか
7　けがや病気の際に、必要な医療を受けられるか
8　持病の治療や服薬を継続できるか
9　家族（子ども・高齢者・障害のある方など）の支援が受けられるか
10　ペットを連れて避難できるか
11　特に不安はない
12　その他（　　）

６　地域福祉全般について

問 27　あなたは、今後、地域福祉に関する講習や説明会などがあれば参加したいと思いますか。（○は１つ）

１　ぜひ参加したい
２　できれば参加したい
３　あまり参加したくない
４　参加したくない
５　わからない

問 28　あなたの住んでいる地域では、福祉に関して、どのような課題や問題があると思いますか。（○はいくつでも）

1　身のまわりのことについて、相談できる人がいない
2　住民同士のまとまりや助け合いが少ない
3　町内会・まちづくりなどの役員のなり手・担い手が少ない
4　多世代（幅広い世代の人々）の交流やつきあいが少ない
5　地域の行事や活動が活発でない
6　地域の人が気軽に集まれる場所が少ない
7　介護疲れやストレスの問題
8　社会参加や生きがいづくりの機会が十分でない
9　孤立や孤立死などの問題
10　ひきこもりの問題
11　貧困の問題
12　虐待の問題
13　育児疲れやストレスの問題
14　子どものいじめや不登校の問題
15　子どもが安心して登下校できるような体制づくり
16　子どもが安心して遊べる場所が少ない
17　災害時に安心して避難できる支援体制の整備
18　地域の防犯
19　地域の外国人とのコミュニケーションが難しい
20　買い物や通院などの移動手段の確保が難しい
21　認知症の人やその家族を支える支援が十分でない
22　一人暮らしの高齢者や頼れる親族等がいない人への支援が十分でない
23　家族の介護や世話をしている子どもや若者（ヤングケアラー）の問題
24　ひきこもりや介護など、複数の課題を抱える世帯への支援
25　その他（　　）
26　特にない

問 29　地域で一人ひとりが安心して暮らしていくために、住民のひとりとしてあなたができることはどんなことがあると思いますか。（○は１つ）

1　地域活動に積極的に参加する
2　できるだけ地域でのできごとに関心を持つ
3　学校での行事など、家族に関係ある範囲内の活動には参加する
4　まずは家庭内の問題（コミュニケーション不足など）を解決する
5　その他（　　）
6　特にない

問 30　地域福祉の推進のためにはどのようなことが必要だと思いますか。
（○はいくつでも）

1　ボランティアなどの地域活動への参加の促進や支援の充実
2　住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援（住民同士や行政との連絡の強化など）
3　住民が誰でも気軽に集える交流の場づくり
4　住民が誰でも気軽に利用できる福祉活動の拠点の整備
5　緊急時や災害時に身近な地域で助け合う体制づくり
6　弱い立場の人への人権侵害や虐待をなくし権利を守る仕組みづくり
7　地域における保健や福祉に関する活動の中心となる人材の育成
8　身近な場所や地域での相談窓口の充実
9　保健や福祉に関する情報提供の充実
10　高齢者や障害のある方の住み慣れた地域での在宅生活を支援するサービスの充実
11　学校教育や生涯学習における福祉教育の充実
12　公共の場のバリアフリー化（階段へのスロープ併設や視覚障害者向けの点字など）
13　その他（　　）
14　わからない

問 31　あなたにとって現在、犬山市はどのようなまちだと思いますか。（○は１つずつ）

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
１）高齢者が暮らしやすいまち	1	2	3	4	5
２）障害のある人が暮らしやすいまち	1	2	3	4	5
３）子育てがしやすいまち	1	2	3	4	5
４）困ったときに助け合えるまち	1	2	3	4	5

最後に、地域福祉全般についてご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき、ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れて、**令和８年Ｘ月Ｘ日（X）**までにポストに投函してください。

（町会長用）

犬山市　地域福祉に関するアンケート調査

＜調査ご協力のお願い＞

市民の皆様には、日頃から市政に対し、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

現在、市では次期「犬山市地域福祉計画」の策定を進めています。この計画は、「つながり支え合い 地域で高めよう “わ”の力」を基本理念に、地域で支え合いながら、誰もがいきいきと健やかに暮らすことができるまちを目指すものです。

この調査は、市の行政事務の一部を委嘱している地域のリーダーである町会長の方々を対象に、町内会活動や地域の現状や課題などを把握するために実施するものです。お答えいただきました回答はすべて統計的に処理し、個人が特定されることはありません。また個々の回答内容を公表したり、調査の目的以外に使用したりすることはありません。

お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和8年Ｘ月　　犬山市長　原　欣伸

＜ご記入にあたってのお願い＞

１　このアンケートは、町会長がお答えください。（町会長がご回答できない場合は、町内会の他の役員の方と相談の上回答いただいても結構です。）

２　回答は、選択項目の中からあてはまるものの番号を○印で囲んでください。また、質問ごとに（○は１つ）（○はいくつでも）など回答の数を示しておりますので、その指示にしたがってお答えください。

３　「その他」に回答された方は、その具体的な内容を（　）内にご記入ください。

４　ご記入いただいた調査票は、無記名のまま同封の返信用封筒に入れて、**令和８年Ｘ月Ｘ日(X)**までに、ポストに投函してください。

◆インターネットからも回答ができます◆

回答はインターネットでも受け付けています（※インターネット回答をした方は、本調査票の返信は不要です）。下記のアドレスを入力するか、右の二次元コードからアクセスし、以下のＩＤ・パスワードを入力後、「アンケートを始める」を押してください。

Web フォーム URL

ID・パスワードシール貼付位置

Web フォーム
二次元コード

回答サイト

＜問い合わせ先＞ 犬山市　福祉課　庶務･生活保護担当（市役所2階）
〒484-8501　犬山市大字犬山字東畑 36 番地
電　話:0568-44-0319（平日9:00～16:00）　メール:030100@city.inuyama.lg.jp

１　あなたご自身のことについて

問１　あなたの性別は何ですか。（○は１つ）

１　男性　　２　女性　　３　回答しない

問２　あなたの年齢は何歳ですか。（令和４年４月１日現在でお答えください。）

歳

問３　あなたは、町会長を務めて通算で何年になりますか。（○は１つ）

１　１年未満　　２　１年～３年未満　　３　３年～５年未満

４　５年～10 年未満　　５　10 年以上

２　町内会の活動について

問４　あなたの町内会が所属している小学校区は、次のうちどれですか。（○は１つ）

１　犬山北小学校区　　２　犬山南小学校区

３　犬山西小学校区　　４　城東小学校区

５　今井小学校区　　６　栗栖小学校区

７　羽黒小学校区　　８　東小学校区

９　楽田小学校区　　10　池野小学校区

問５　あなたの町内会で行っている活動の分野は、次のうちどれですか。（○はいくつでも）

1　防犯・交通安全活動
2　防災活動
3　子ども・子育て支援活動
4　高齢者支援活動
5　健康づくり活動
6　障害のある人の支援活動
7　生活困窮者支援活動
8　美化活動
9　緑化活動
10　環境向上活動
11　地域住民のふれあい活動

問６　あなたの町内会で行っている活動のうち、十分にできていないと思っている活動はどれですか。（○はいくつでも）

1　防犯・交通安全活動
2　防災活動
3　子ども・子育て支援活動
4　高齢者支援活動
5　健康づくり活動
6　障害のある人の支援活動
7　生活困窮者支援活動
8　美化活動
9　緑化活動
10　環境向上活動
11　地域住民のふれあい活動
12　どの活動も十分にできている

問７　町内会の活動を行う上での課題や問題は、次のうちどれですか。（○はいくつでも）

１　定期的な地域活動やイベントへの参加者が少ない

２　活動への若い人の参加が少ない

３　役員のなり手が少ない、または、役員選出の調整が難しい

４　新しい居住者や単身者が多く、活動に対する関心が低い

５　活動がマンネリ化している

６　活動に必要な資金が不足している

７　集会などのための場所の確保が難しい

８　町内会と行政との間で密に連携をとるための体制が整っていない

９　その他（　　）

10　特にない

問８　町内会活動において、市内の他の組織や団体との連携はありますか。（○は１つ）

１　ある　→問８－１へ

２　ない　→問９へ

【問８で「１　ある」と答えた方にお聞きします。】
問８－１　連携している市内の組織や団体は次のうちどれですか。（○はいくつでも）

１　他の町内会
２　ボランティア
３　ＮＰＯ
４　福祉活動団体
５　老人クラブ
６　子ども会
７　防災組織
８　福祉施設、福祉サービス事業所
９　市役所（出張所含む）
10　高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）
11　障害者基幹相談支援センター
12　こども家庭センター・家庭児童相談室
13　くらし自立サポートセンター
14　保健センター・市民健康館
15　青少年センター
16　保育園・認定こども園（子ども未来園）、幼稚園
17　学校
18　社会福祉協議会
19　その他（　　）

問９　町内会活動において、今後連携したい組織や団体はありますか。（○は１つ）

１　ある　→問９－１、９－２へ

２　ない　→問 10 へ

【問９で「１　ある」と答えた方にお聞きします。】
問９－１　今後連携したい市内の組織や団体は次のうちどれですか。（○はいくつでも）

１　他の町内会

２　ボランティア

３　ＮＰＯ

４　福祉活動団体

５　老人クラブ

６　子ども会

７　防災組織

８　福祉施設、福祉サービス事業所

９　市役所（出張所含む）

10　高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）

11　障害者基幹相談支援センター

12　こども家庭センター・家庭児童相談室

13　くらし自立サポートセンター

14　保健センター・市民健康館

15　青少年センター

16　保育園・認定こども園（子ども未来園）、幼稚園

17　学校

18　社会福祉協議会

19　その他（　　）

【問９で「１　ある」と答えた方にお聞きします。】

問９－２　他の組織や団体と連携しようとする上で困っていることはありますか。
（○はいくつでも）

１　連携したい相手と出会う機会がない

２　連携したい相手に連携の必要性を理解してもらえない

３　連携したい相手に町内会の活動を十分に理解してもらえない

４　連携したい相手が多忙で協力してもらえない

５　連携の仲介や調整を頼める人がいない

６　町内会の活動が多忙でなかなか連携に取りかかれない

７　その他（　　）

８　特にない

問 10　今後、行政と協力して地域活動を行うことについては、どのようにお考えですか。
（○は１つ）

１　積極的に協力したい　→問 10－１へ

２　要請があれば協力したい　→問 10－１へ

３　興味がある内容であれば協力したい　→問 10－１へ

４　協力の必要性を感じていない　→問 11 へ

５　その他（　　）　→問 11 へ

【問 10 で「１～３　協力したい」と答えた方にお聞きします。】

問 10－1　行政と協働して特に積極的に取り組みたい活動は、次のうちどれですか。
（○はいくつでも）

1　防犯・交通安全活動

2　防災活動

3　子ども・子育て支援活動

4　高齢者支援活動

5　健康づくり活動

6　障害のある人の支援活動

7　生活困窮者支援活動

8　美化活動

9　緑化活動

10　環境向上活動

11　地域住民のふれあい活動

12　その他（　　）

問 11　今後の活動の充実、活性化のために、行政に期待する支援は何ですか。
（○はいくつでも）

1　他の町内会や市との意見交換の機会の充実

2　活動拠点となる場所の充実・確保に対する支援

3　先進事例の紹介など、取組を支援するための情報提供

4　町内会での新たな担い手となる人材の育成支援

5　活動に対する資金援助などの経済的支援

6　町内会の役員の負担の軽減

7　その他（　　）

8　特にない

３　災害時の支援体制について

問 12　あなたがお住いの地域で、災害時の備えとして行っていることは何ですか。（〇は１つ）

１　防災訓練

２　啓発活動（チラシ配付等）

３　見守り・声かけ

４　特にない

問 13　あなたがお住まいの地域では、災害時の地域の支え合い体制について課題はありますか。（〇はいくつでも）

１　支え合い活動を担う人材が不足している

２　地域住民の防災意識が不足している

３　市や関係団体との連携が十分でない

４　その他（　　）

５　特に課題はない

４　地域福祉について

問 14　あなたがお住まいの地域では、地域のつながりは強いと思いますか。（○は１つ）

１　近所づきあいが多く、つながりはとても強いと思う

２　近所づきあいがあり、つながりはある程度強いと思う

３　あいさつをする程度の近所づきあいしかなく、つながりはあまり強くないと思う

４　近所づきあいがほとんどなく、つながりは強くないと思う

５　わからない

問 15　地域の福祉を考える上で、行政と住民とはどのような関係にあるべきだと思いますか。（○は１つ）

１　福祉は行政の責任で行うべきであり、住民は特に協力することはない

２　福祉は行政の責任で行うべきだが、行政の手の届かない課題については住民が協力していくべきである

３　福祉は行政と住民が協力して、ともに取り組むべきである

４　家庭や地域で助け合うのが先で、できない場合に行政が援助すべきである

５　その他（　　）

６　わからない

問 16　あなたがお住まいの地域では、福祉に関して、どのような課題や問題があると思いますか。（○はいくつでも）

1　身のまわりのことについて、相談できる人がいない
2　住民同士のまとまりや助け合いが少ない
3　町内会・まちづくりなどの役員のなり手・担い手が少ない
4　多世代（幅広い世代の人々）の交流やつきあいが少ない
5　地域の行事や活動が活発でない
6　地域の人が気軽に集まれる場所が少ない
7　介護疲れやストレスの問題
8　社会参加や生きがいづくりの機会が十分でない
9　孤立や孤立死などの問題
10　ひきこもりの問題
11　貧困の問題
12　虐待の問題
13　育児疲れやストレスの問題
14　子どものいじめや不登校の問題
15　子どもが安心して登下校できるような体制づくり
16　子どもが安心して遊べる場所が少ない
17　災害時に安心して避難できる支援体制の整備
18　地域の防犯
19　地域の外国人とのコミュニケーションが難しい
20　買い物や通院などの移動手段の確保が難しい
21　認知症の人やその家族を支える支援が十分でない
22　一人暮らしの高齢者や頼れる親族等がいない人への支援が十分でない
23　家族の介護や世話をしている子どもや若者（ヤングケアラー）の問題
24　ひきこもりや介護など、複数の課題を抱える世帯への支援
25　その他（　　）
26　特にない

問 17　地域福祉の推進のためにはどのようなことが必要だと思いますか。
（○はいくつでも）

1　ボランティアなどの地域活動への参加の促進や支援の充実

2　住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援（住民同士や行政との連絡の強化など）

3　住民が誰でも気軽に集える交流の場づくり

4　住民が誰でも気軽に利用できる福祉活動の拠点の整備

5　緊急時や災害時に身近な地域で助け合う体制づくり

6　弱い立場の人への人権侵害や虐待をなくし権利を守る仕組みづくり

7　地域における保健や福祉に関する活動の中心となる人材の育成

8　身近な場所や地域での相談窓口の充実

9　保健や福祉に関する情報提供の充実

10　高齢者や障害のある方が住み慣れた地域での在宅生活を支援するサービスの充実

11　学校教育や生涯学習における福祉教育の充実

12　公共の場のバリアフリー化（階段へのスロープ併設や視覚障害者向けの点字など）

13　その他（　　）

14　わからない

問 18　あなたにとって現在、犬山市はどのようなまちだと思いますか。（○は１つずつ）

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
１）高齢者が暮らしやすいまち	1	2	3	4	5
２）障害のある人が暮らしやすいまち	1	2	3	4	5
３）子育てがしやすいまち	1	2	3	4	5
４）困ったときに助け合えるまち	1	2	3	4	5

最後に、地域福祉全般や地域での困りごとについてご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき、ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れて、**令和８年Ｘ月Ｘ日（Ｘ）**までにポストに投函してください。

（民生委員・児童委員用）

犬山市　地域福祉に関するアンケート調査

＜調査ご協力のお願い＞

犬山市民生委員・児童委員の皆様には、日頃から市政に対し、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

現在、市では次期「犬山市地域福祉計画」の策定を進めています。この計画は、「つながり支え合い 地域で高めよう“わ”の力」を基本理念に、地域で支え合いながら、誰もがいきいきと健やかに暮らすことができるまちを目指すものです。

この調査は、民生委員・児童委員の方々を対象に、日ごろの活動や地域の現状や課題などを把握するために実施するものです。お答えいただきました回答はすべて統計的に処理し、個人が特定されることはありません。また個々の回答内容を公表したり、調査の目的以外に使用したりすることはありません。

お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和8年Ｘ月　　犬山市長　原　欣伸

＜ご記入にあたってのお願い＞

１　このアンケートは、あて名の方ご本人がお答えください。

２　回答は、選択項目の中からあてはまるものの番号を○印で囲んでください。また、質問ごとに（○は１つ）（○はいくつでも）など回答の数を示しておりますので、その指示にしたがってお答えください。

３　「その他」に回答された方は、その具体的な内容を（　）内にご記入ください。

４　ご記入いただいた調査票は、無記名のまま同封の返信用封筒に入れて、**令和８年Ｘ月Ｘ日(X)**までに、ポストに投函してください。

◆インターネットからも回答ができます◆

回答はインターネットでも受け付けています（※インターネット回答をした方は、本調査票の返信は不要です）。下記のアドレスを入力するか、右の二次元コードからアクセスし、以下のＩＤ・パスワードを入力後、「アンケートを始める」を押してください。

Web フォーム URL

ID・パスワードシール貼付位置

Web フォーム
二次元コード

回答サイト

＜問い合わせ先＞ 犬山市　福祉課　庶務･生活保護担当（市役所2階）
〒484-8501　犬山市大字犬山字東畑 36 番地
電　話:0568-44-0319（平日9:00～16:00）　メール:030100@city.inuyama.lg.jp

１　あなたご自身のことについて

問１　あなたの性別は何ですか。（○は１つ）

１　男性　　２　女性　　３　回答しない

問２　あなたの年齢は何歳ですか。（令和４年４月１日現在でお答えください。）

歳

問３　あなたは、民生委員・児童委員を務めて通算で何年になりますか。（○は１つ）

１　１年未満　　２　１年～３年未満　　３　３年～５年未満

４　５年～10 年未満　　５　10 年以上

２　民生委員・児童委員の活動について

問４　あなたが活動を行っている地区は、次のうちどれですか。（○はいくつでも）

１　犬山北

２　犬山南

３　城東

４　羽黒

５　楽田

６　池野

問５　委員の活動のうち、現状で十分にできていないと思っている活動はどれですか。
（○はいくつでも）

１　高齢者家庭への訪問

２　乳幼児家庭への訪問

３　障害者家庭への訪問

４　住民からの相談対応

５　高齢者や障害者、子どもの見守り

６　福祉施設（高齢者・障害者・児童）などの利用者との交流

７　福祉サービスについての情報提供

８　行政や関係機関との連絡・調整

９　地域サロンなどの実施

10　その他（　　）

11　十分にできていない活動はない

問６　委員の活動を行う上での課題や問題は、次のうちどれですか。（○はいくつでも）

１　地域サロンやイベントへの参加者が少ない

２　若い委員が少ない

３　地域福祉や委員の活動に対する住民の関心が低い

４　活動にやりがいを感じない

５　活動にかかる負担が大きい

６　担当地区の範囲が広く、住民への細やかな対応ができない

７　活動に対する行政の支援が少ない、または全くない

８　活動で困ったときに相談できるところがわからない

９　その他（　　）

10　課題や問題は特にない

問７　委員の活動において、市内の他の組織や団体との連携はありますか。（○は１つ）

１　ある　→問７－１へ

２　ない　→問８へ

【問７で「１　ある」と答えた方にお聞きします。】
問７－１　連携している市内の組織や団体は次のうちどれですか。（○はいくつでも）

１　町内会
２　ボランティア
３　ＮＰＯ
４　福祉活動団体
５　老人クラブ
６　子ども会
７　防災組織
８　福祉施設、福祉サービス事業所
９　市役所（出張所含む）
10　高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）
11　障害者基幹相談支援センター
12　こども家庭センター・家庭児童相談室
13　くらし自立サポートセンター
14　保健センター・市民健康館
15　青少年センター
16　保育園・認定こども園（子ども未来園)、幼稚園
17　学校
18　社会福祉協議会
19　その他（　　）

問８　委員の活動において、今後連携したい組織や団体はありますか。（○は１つ）

１　ある　→問８－１、８－２へ

２　ない　→問９へ

【問８で「１　ある」と答えた方にお聞きします。】
問８－１　今後連携したい市内の組織や団体は次のうちどれですか。（○はいくつでも）

１　町内会

２　ボランティア

３　ＮＰＯ

４　福祉活動団体

５　老人クラブ

６　子ども会

７　防災組織

８　福祉施設、福祉サービス事業所

９　市役所

10　高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）

11　障害者基幹相談支援センター

12　こども家庭センター・家庭児童相談室

13　くらし自立サポートセンター

14　保健センター・市民健康館

15　青少年センター

16　保育園・認定こども園（子ども未来園)、幼稚園、

17　学校

18　社会福祉協議会

19　その他（　　）

【問８で「１　ある」と答えた方にお聞きします。】

問８－２　他の組織や団体と連携しようとする上で困っていることはありますか。
（○はいくつでも）

１　連携したい相手と出会う機会がない

２　連携したい相手に連携の必要性を理解してもらえない

３　連携したい相手に委員の活動を十分に理解してもらえない

４　連携したい相手が多忙で協力してもらえない

５　連携の仲介や調整を頼める人がいない

６　委員の活動が多忙でなかなか連携に取りかかれない

７　その他（　　）

８　特にない

問９　住民に最も身近な支援者として地域福祉の増進に寄与する活動を担う民生委員・児童委員の活動を、より充実、活性化させるために行政に期待する支援は何ですか。
（○はいくつでも）

１　他の委員や市との意見交換の機会の充実

２　活動拠点となる場所の充実・確保に対する支援

３　先進事例の紹介など、取組を支援するための情報提供

４　新たに民生委員・児童委員の担い手となる人材の発掘や育成支援

５　活動に対する資金援助などの経済的支援

６　活動における困りごとに対する相談支援

７　その他（　　）

８　特にない

問 10　あなたの地区における民生委員・児童委員の担い手確保の状況について、どのように感じていますか。（○は１つ）

１　十分に確保できている

２　おおむね確保できている

３　やや不足している

４　大変不足している

５　わからない

問 11　民生委員・児童委員の担い手不足が生じている主な理由は何だと思いますか。（○は３つまで）

１　活動の負担が大きい

２　仕事や家庭との両立が難しい

３　適当な候補者が見つからない

４　地域住民に活動内容が十分知られていない

５　責任が重いと感じられている

６　高齢化により引き受けられる人が少ない

７　個人情報の取り扱いなどへの不安がある

８　報酬や活動費が十分ではない

９　その他（　　）

３　災害時の支援体制について

問 12　あなたがお住いの地域で、災害時の備えとして行っていることは何ですか。
（〇は１つ）

１　防災訓練

２　啓発活動（チラシ配付等）

３　見守り・声かけ

４　特にない

問 13　あなたが活動を行っている地区では、災害時の地域の支え合い体制について課題はありますか。（〇はいくつでも）

１　支え合い活動を担う人材が不足している

２　地域住民の防災意識が不足している

３　市や関係団体との連携が十分でない

４　その他（　　）

５　特に課題はない

４　地域福祉について

問 14　あなたがお住まいの地域では、地域のつながりは強いと思いますか。（○は１つ）

１　近所づきあいが多く、つながりはとても強いと思う

２　近所づきあいがあり、つながりはある程度強いと思う

３　あいさつをする程度の近所づきあいしかなく、つながりはあまり強くないと思う

４　近所づきあいがほとんどなく、つながりは強くないと思う

５　わからない

問 15　地域の福祉を考える上で、行政と住民とはどのような関係にあるべきだと思いますか。（○は１つ）

１　福祉は行政の責任で行うべきであり、住民は特に協力することはない

２　福祉は行政の責任で行うべきだが、行政の手の届かない課題については住民が協力していくべきである

３　福祉は行政と住民が協力して、ともに取り組むべきである

４　家庭や地域で助け合うのが先で、できない場合に行政が援助すべきである

５　その他（　　）

６　わからない

問 16　あなたがお住まいの地域では、福祉に関して、どのような課題や問題があると思いますか。（○はいくつでも）

1　身のまわりのことについて、相談できる人がいない
2　住民同士のまとまりや助け合いが少なく、関係が希薄
3　町内会・まちづくりなどの役員のなり手・担い手が少ない
4　多世代（幅広い世代の人々）の交流やつきあいが少ない
5　地域の行事や活動が活発でない
6　地域の人が気軽に集まれる場所が少ない
7　介護疲れやストレスの問題
8　社会参加や生きがいづくりの機会が十分でない
9　孤立や孤立死などの問題
10　ひきこもりの問題
11　生活に困窮するなどの貧困の問題
12　高齢者・障害者・子どもに対する虐待の問題
13　育児疲れやストレスの問題
14　子どものいじめや不登校の問題
15　子どもが安心して登下校できるような体制づくり
16　子どもが安心して遊べる場所が少ない
17　災害時に安心して避難できる支援体制の整備
18　地域の防犯
19　地域の外国人とのコミュニケーションが難しい
20　買い物や通院などの移動手段の確保が難しい
21　認知症の人やその家族を支える支援が十分でない
22　一人暮らしの高齢者や頼れる親族等がいない人への支援が十分でない
23　家族の介護や世話をしている子どもや若者（ヤングケアラー）の問題
24　ひきこもりや介護など、複数の課題を抱える世帯への支援
25　その他（　　）
26　特にない

問 17　地域福祉の推進のためにはどのようなことが必要だと思いますか。
（〇はいくつでも）

1　ボランティアなどの地域活動への参加の促進や支援の充実

2　住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援（住民同士や行政との連絡の強化など）

3　住民が誰でも気軽に集える交流の場づくり

4　住民が誰でも気軽に利用できる福祉活動の拠点の整備

5　緊急時や災害時に身近な地域で助け合う体制づくり

6　弱い立場の人への人権侵害や虐待をなくし権利を守る仕組みづくり

7　地域における保健や福祉に関する活動の中心となる人材の育成

8　身近な場所や地域での相談窓口の充実

9　保健や福祉に関する情報提供の充実

10　高齢者や障害者の住み慣れた地域での在宅生活を支援するサービスの充実

11　学校教育や生涯学習における福祉教育の充実

12　公共の場のバリアフリー化（階段へのスロープ併設や視覚障害者向けの点字など）

13　その他（　　）

14　わからない

問 18　あなたにとって現在、犬山市はどのようなまちだと思いますか。（○は１つずつ）

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
１）高齢者が暮らしやすいまち	1	2	3	4	5
２）障害のある人が暮らしやすいまち	1	2	3	4	5
３）子育てがしやすいまち	1	2	3	4	5
４）困ったときに助け合えるまち	1	2	3	4	5

最後に、地域福祉全般や委員の活動における困りごとについてご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき、ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れて、**令和８年Ｘ月Ｘ日（X）までに**ポストに投函してください。